

NOVARESE

NOVARESE(ノバレーゼ)は、最高級のレースやクリスタルビーズを使用し、完璧な仕立を行ったクチュール最高峰のドレス。毎年イタリアにて行われる世界最大のウエディングドレスのコレクション「スパーザイタリア」から最先端のドレスをセレクト。だれよりもファッショナブルでスタイリッシュな花嫁を完成させます。また、イタリアのメゾンとのコラボレーションにより誕生したNOVARESEオリジナルドレスは、300社に及ぶメゾンのセクションから始まり数年の歳月を経て日本の新婦様のために誕生した秀逸なドレスばかりです。美術館のようなたたずまいを見せる店内で絵画を見るようにドレスを選んでください。

URL <http://www.novarese.jp>



 NOVARESE



ecruspose

ecru(エクリュ)はフランス語で「素のままの、ありのままの」という意味。「自然体の花嫁を輝かせたい」そんな思いから生まれたドレスです。ナチュラルでスイート、誰もが夢見る甘く可愛い花嫁のイメージのドレスは、全ての人から世代を超えて愛されるでしょう。光にきらきらと反射するクリスタルの刺繍がほどこされたトップス、羽のように軽いオーガンジーがふんだんに使用されているバクトレーン、キャンディーカラーのカクテルドレス。最高の笑顔に合う最高のドレスを見つけてください。

URL <http://www.ecruspose.jp>



ecru
s p o s e



BAMBINI

全ての子供達に贈る、スイートでラブリーなコレクション—NOVARESE BAMBINI。
ノバレーゼ・バンビーニが提案するのは、オフホワイトやピンク、パールブルーといった優しい色のドレスやタキシード。リボンやコサージュ、着心地など細部にまで徹底してこだわり、完成度の高い衣裳が生まれました。厳選された素材をイタリアのクチュール技術で美しく仕立てた運命の一着は、全ての子供達を最高に輝かせてくれます。



色打掛

着物の上に羽織って裾をひく「打掛」スタイルは近世の武家女性の礼装のひとつです。赤やブルー・ゴールドなど華やかな色使いで、おめでたい文様を施しています。基本的に色打掛と白無垢は上に羽織るものが違うだけなので白無垢から色打掛のお色直しはあまり時間をとりません。

文金高島田

花嫁が白無垢や打掛を着る際の日本髪のための代表的なものです。島田髷(まげ)の髷の根も、髷も高くした上品な髪のかき方です。

末広

扇子のことです。「末広がり(の)幸せ」「両家の繁栄」などの意味を持つ、花嫁の縁起物です。

抱え帯

婚礼衣装独特の、帯の下の方に結ぶ細い帯です。この帯が花嫁衣装をより華やかに演出します。

掛下

打掛の下に着る着物です。白無垢の場合は白に限定されていますが、色打掛の場合は白以外でも問題ありません。



白無垢

打掛から掛下まで全身すべて白で統一した和装衣装です。神聖な式に臨む和装の代表的な式服として知られています。もともとは「嫁いで行く婿家の色に染まる」という意味があります。

綿帽子

文金高島田の上から冠る白い布の袋のこと。本来は式が終わるまで、花嫁以外に顔を見られないためのものでした。挙式時のみ着け、披露宴では外します。

引振袖

「お引き」「お引きずり」とも呼ばれる、裾を引いた振袖です。中でも黒引振袖は明治から昭和にかけて花嫁衣装として流行したもので、レトロなイメージが新鮮に映って最近人気です。



角隠し

挙式・披露宴で文金高島田の上から冠る布で、明治時代に登場したもの。花嫁の頭から角がでないように・・・という意味も込められており、白無垢、色打掛の両方の頭の飾りとして使われています。

懐剣(かいけん)

飾りひものついた帯にはさむ和装小物です。武家の女性が護身用の短刀を身につけていたことが由来とされています。

篋迫(はこせこ)

懐紙やお守りを入れる、襟元に飾る袋もので、今でいう化粧ポーチです。刺しゅうや房が付いていて、中には鏡が入っています。



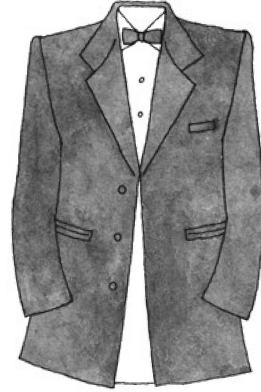
フロックコート

男性の昼の礼装です。上着の丈が膝まであるタイプで、ズボンは縞のものを合わせます。最近では新郎の衣裳としてタキシードに次いで人気です。背の高い新郎におすすめです。



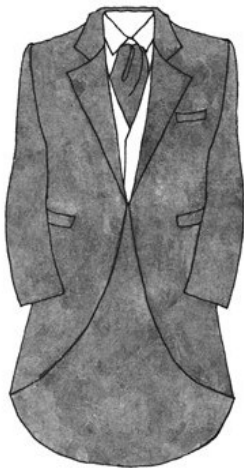
タキシード

夜の準礼装です。ニューヨークのタキシード公園のクラブ員が身につけたことに由来します。最近では黒以外にシルバーグレーなどカラータキシードも人気です。カマーバンドや蝶ネクタイが着こなしのポイントになります。



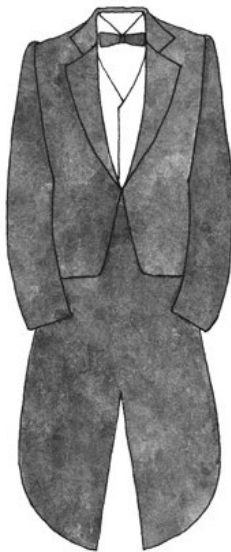
モーニング

もともとは、フロックコートの代わりに着ていたものです。現在では、昼の正礼装となっていますが、日本の場合は夜のパーティーに着ても問題はありません。後ろが長くなったデザインと縞のパンツが特徴的です。



燕尾服

別名テールコートとも呼ばれ、夜の正礼装です。前身頃は短く、後身頃は燕の尾のように長く伸びていることから燕尾服と呼ばれています。前身頃の丈が短いので足を長く見せる効果があります。結婚式の場合は、昼に着用しても問題ありません。



紋付袴

新郎の正装は「紋付羽織袴」(紋服や紋付は略した言い方)で、染め抜きの五つ紋がついた黒羽二重の着物と羽織に、仙台平の袴を合わせます。手には「末広(扇子)」を。草履は畳表の草履が正式です。最近では色ものの紋服もありますが、これは準礼装となります。



チーフ

男性が上着の胸ポケットにさす装飾用のポケットチーフのことです。

アスコットタイ

男性の昼用正礼装で使用する幅広のタイです。